

2023年3月3日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

2月の事業活動は堅調に拡大

主な動向

需要増加を受け、事業活動の上昇が加速

受注残の上昇率は2017年8月以来最大

景況感、直近4か月間の最高水準を更新

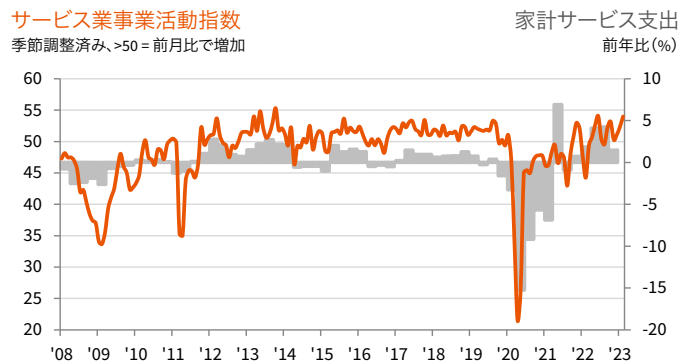
データ収集期間：2023年2月10～23日

日本のサービス業は、2023年第1四半期の半ばに事業活動が顕著に増加したことを示した。企業らは、新型コロナによるサービス業への影響が弱まっていることを指摘しており、新規事業の顕著な上昇の中、事業活動は大幅に増加し、そのペースは過去8か月間で最大だった。需要の改善が既存の生産能力に対する圧力に拍車をかけたため、企業らからは受注残が5年半ぶりに最高水準を更新したと報告が寄せられた。また、中国内の新型コロナに係る制限措置の緩和と世界経済の回復が、日本の需要をさらに押し上げるだろうという期待もあり、今後一年間にわたる事業活動の見通しが高まった。

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味する。

2月のauじぶん銀行日本サービス業活動指数は年初の52.3から54.0に大きく上昇し、事業活動が堅調に成長したと指摘した。指数も昨年6月以来の最大値を更新。これについて、新型コロナによる影響が弱まったことで、需要が押し上げられたと、多くの企業がコメントを寄せた。



そのため、2月の新規事業の成長率は緩やかなペースで加速した。調査回答企業らは、国内外の需要が回復し顧客の購買意欲が高まったとコメントを寄せており、過去9か月間で最も速い成長となった。新規輸出受注も、過去3年間で2番目に速いペースで増加した。

事業活動と新規事業の顕著な増加が日本のサービス業の生産能力への圧力増加につながり、企業らの受注残は加速する勢いで上昇し、2017年8月以来の最大値を更新した。一方、雇用者数は再び増加を記録しており、企業の実態をみる限り、需要の回復による人員強化の必要性が要因だった。

平均間接費は第1四半期の半ば、著しく上昇した。インフレ率は3か月ぶりに緩和したものの、購買価格は27か月連続で上昇している。調査回答企業らは原材料価格の高騰と人件費をコスト圧力の要因に指摘。中でも燃料や光熱費の上昇が顕著だった。サービス単価が10か月連続で上昇していることから、コストの増加分が顧客に一部転嫁された。

今後一年間にわたる事業活動に対する2月の見通しは堅調で、楽観的な景況感とは2022年10月以来の高水準であり、前回調査期間からさらに強まった。企業らは、新型コロナによる影響がさらに弱まり、旅行・観光を筆頭に国内外のサービス需要が高まるだろうと期待を寄せた。

auじぶん銀行 日本複合PMI®

2月の民間企業の生産高は、
より速いペースで上昇

auじぶん銀行日本複合PMI生産高指数*は2月に51.1を記録。1月の50.7から上昇し、民間企業の生産高の増加が加速していることを示した。上昇はわずかだが、過去4か月間で最大の増加率だった。製造業では、生産高が2020年7月以来最大のペースで減少しているため、増加は主にサービス業の事業活動の成長によるものだった。

複合新規受注数は、昨年10月以来はじめてプラス圏内に戻った。わずかとはいえ、過去9か月間の最大値を更新したサービス業の新規事業増加が、製造業の受注数大幅減少を相殺する形となった。一方、製造業の受注残がおよそ2年半ぶりに大きく減少したことで、民間企業の受注残は過去4か月間で3度目となる減少を記録した。

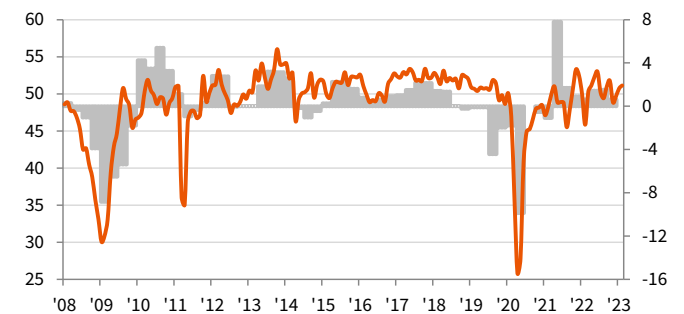
また、民間企業は購買価格のインフレ率が緩やかになったと報告したが、平均間接費は高止まりで推移。これを受けて、民間企業は商品・サービスの販売単価を大幅なペースで引き上げた。

今後一年の見通しは、国内外で新型コロナによる影響が弱まったことを受け、業況の回復に期待が寄せられる中、1月からさらに強まった。

* 複合指数は製造業とサービス業それぞれの指数を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データに基づく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。日本複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業活動指数の加重平均である。

複合生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

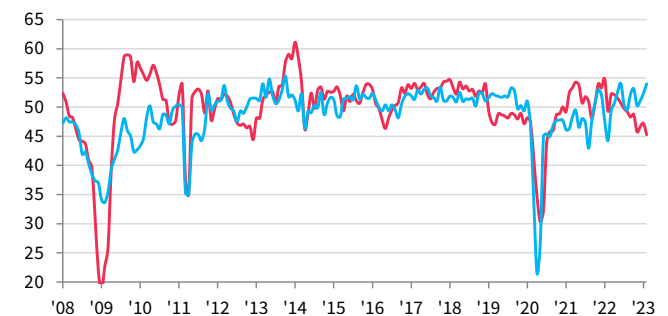
GDP
前年比(%)

出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル・インク、内閣府

製造業生産高指数

サービス業事業活動指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル・インク

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「日本のサービス業は、2月の需要がより速いペースで回復したことを示した。最新のPMIデータは、事業活動と新規事業が2022年夏以来の高水準を更新し、急速に回復したことを示した。調査回答では、新型コロナの影響が弱まったことによる業況と需要の回復が、国内外の市場の事業活動と顧客の購買意欲増加につながったというコメントが多かった。

需要の回復により、受注残は過去5年半で最も急速に増加し、短期的な見通しも明るい。一方、今後1年間の見通しは過去4か月間の最大値を更新した。

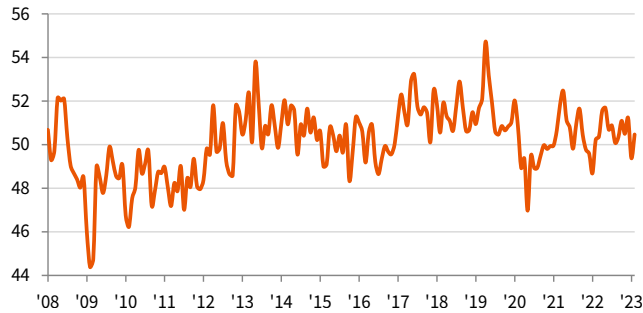
2月の民間企業全体の事業活動も、より速いペースで増加した。増加は前述の

サービス業の事業活動上昇によるもので、対する製造業の生産高は需要と受注の低迷を受け、さらに減少を記録した。

日本の民間企業は、新型コロナとインフレによる影響が継続的に緩和する兆候をみせていることから、今後12か月間にわたる事業活動は持続的に成長すると、強気の見通しを維持した。そのため、企業らは昨年10月以来となる楽観的な景況感を示した。これは日本の経済が2023年には1.2%成長するとみるS&Pグローバルの予想と一致する。」

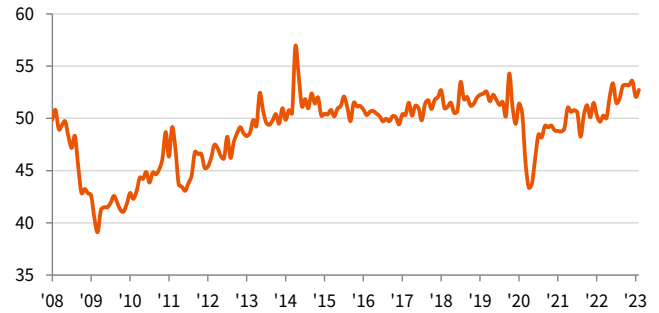
サービス業雇用指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



サービス単価指数

季節調整済み、>50 = 前月比で上昇



お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +44 1344 328 370

usamah.bhatti@spglobal.com

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +82 2 6001 3128

sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したもものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2023年2月のデータ収集期間: 2023年2月10~23日。

PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI®)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱着、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱着(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global